



# 茶の香だより

第 34 号

令和 7 年 10 月 10 日発行

発行元：武蔵村山市立第五中学校

学校運営協議会

編 集：学習部

御挨拶

校長 大野 博史

本校はコミュニティ・スクールとして、学校・保護者・地域が力を合わせ、教育活動を進めております。生徒の健全育成のためには、それぞれの立場から知恵と力を寄せ合うことが欠かせません。特に学校運営協議会に設けられた「学習部」「生活部」「地域連携部」の三部は、例年活発に活動していただいております。

学習部では夏季補習や面接練習を通じて学ぶ力を伸ばし、生活部では校庭の芝刈りや防犯パトロールにより安心・安全な環境を整えていただいております。さらに地域連携部では、五中フェスティバルやプロから学ぶ会などの企画・運営を支えていただき、生徒が地域や社会とのつながりを実感する貴重な機会となっております。

これらの取組はすべて、「社会に貢献できる生徒の育成」を目指す本校の教育を力強く支えるものです。今後も学校・保護者・地域が一体となり、未来を担う生徒の成長を共に支えてまいります。

半年の活動を振り返って

会長 堀内 一弘

ようやく暑さも落ち着き、秋の気配を感じる季節となりました。今年の夏も厳しい暑さが続き、学校や地域、企業でもその対策に追われたことと思います。皆様には、今後も体調管理に十分ご留意いただき、安心、安全な学校生活を送っていただければと願っております。

さて、本年度の学校運営協議会の活動も折り返しを迎えました。これまでに五中フェスティバル、MMフェスティバル、芝刈り、防犯パトロール、夏季補習講座など、さまざまな取り組みに協力してまいりました。

特に今年は、生徒会主催による初めてのMMフェスティバルが開催されました。当初は不安もありましたが、生徒、地域、PTA、学校が一体となって協力し、無事に成功につながれたことは大きな成果であったと感じております。

今後も「みんなの音楽会」や模擬面接、専門家による講座、さらには廊下のペンキ塗りなど多くの活動が予定されています。学校運営協議会の委員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

「当たり前を、当たり前続けていくこと」を大切にしながら、引き続き学校運営協議会の活動を通して学校に貢献していきたいと思っております。

今後とも保護者の皆さま、教職員の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 《学習部特集》

学習部では、①夏季補習講座のお手伝い。②進路模擬面接の面接官の調整、参加。③茶の香だよりの編集、発行を主な活動としております。

夏季補習講座では夏休みを利用して、中学一年生の生徒に都立武蔵村山高校の高校生が優しく勉強を教えています。

毎回、微笑ましく、頼もしい姿にこちらが元気をもらっています。

そして、進路面接練習では中学三年生を対象に6日間、のべ24名の面接官を学校運営協議会の委員及び地域の保護司の皆様をお願いをして担当しています。

今回、面接官を担当経験のある方にお話を伺いました。

### 【模擬面接練習】

学習部で担当している受験前の模擬面接練習に関わっています。先生方の目線と違う角度で生徒の皆さんと練習していきます。

第一印象の大切さ、声の大きさの感覚、制服等服装の身だしなみのチェック等が主な確認事項です。

「すみません！もう一度やって良いですか？」

「わからない事はどのように答えたら良いですか？」

皆、素直に一生懸命な姿勢がみてとれます。

僅か20分程ですが退室する時には安心するのかニッコリとした笑顔になります。自信に繋がるような仕草の後ろ姿に、私達は嬉しい気持ちにさせて頂いています。

### 【面接練習に寄せて】

一番印象に残っている面接があります。面接官として参加した初期の頃、練習後の総括で将来について言及した時のことです。

「実は自分と両親の希望が合わず悩んでいる」と相談されたのです。初対面の相手に向かって、真剣に語る姿に感動を覚えました。上手に答えられず、一緒に考える事しか出来ませんでした。この経験を通してより深く向き合わねば、と思う出来事でした。

一期一会を大切に、これからも経験を重ねたいと思います。

